

学則の変更の趣旨等を記載した書類

— 目次 —

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容	・・・	2
イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性	・・・	2
ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容		
（ア）教育課程の変更内容	・・・	3
（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容	・・・	4
（ウ）教員組織の変更内容	・・・	4
（エ）大学全体の施設・設備の変更内容	・・・	4
添付資料（教育課程等の概要）	・・・	5

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

令和 2 年度より、大阪樟蔭女子大学学則第 42 条に定める、学芸学部国文学科及び学芸学部ライフプランニング学科の定員を次のとおり変更する。なお、大学および学部全体の収容定員に増減はない。

学部	学科	現行		変更後	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
学芸学部	国文学科	80	320	60	240
学芸学部	ライフプランニング学科	40	160	60	240
大阪樟蔭女子大学（全体）		690	2,760	690	2,760

イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

学芸学部ライフプランニング学科は、平成 19 年 4 月、当時、学齢人口の減少、高学歴志向の高まり、女子の 4 年制大学への進学率の高まり等、高等教育を取り巻く環境の変化と、女性の社会進出や社会生活の多様化等、社会的な要請の変化へ対応するため、家政学分野と経済学分野を中心的な学問として設置された。

以来、「現代に生きる女性とその人生において経験するライフ・イベントに主体的に対処していくために必要な知識と技能を養い、家庭と職場の双方において活躍できるバランス感覚の優れた人材」の育成に努めてきた。

さらに、現代社会における食文化の多様化や、人々の健康志向の高まりの中で、平成 23 年よりフードスタディコースを設けていた樟蔭高等学校との高大連携の一貫として、平成 27 年 4 月、従来の教育課程を踏襲するライフデザインコースに加え、「日々の暮らしを真の意味で豊かにする食に関する先進的な知識と技能を身につけつつ、食の伝統と文化を理解した上で自らの暮らしに役立て、社会に貢献できる人材の育成」を目的とするフードスタディコースを設けた。

その結果として、ライフプランニング学科の志願者数が増加し、入学定員超過率は過去 5 年間平均で 1.5 倍を超えるようになった。この点は、平成 30 年 7 月、大学の収容定員の増加に係る学則変更の認可にあたり、附帯事項でも指摘を受けており、適正化を図る必要がある。

一方、学芸学部国文学科は、昭和 24 年の大学開設時に設置され、70 年の長きに渡って、日本の言語・文学に関する幅広い知識を教授することにより、日本文化に対する造詣を深め、豊かな情操を涵養し、言語運用能力を養成し、日本文化を継承・発展させ発信する能力を以って、異文化間の交流を視野に入れつつ、社会で活躍できる人材を育成してきた。

しかし近年の実学・資格志向、医療系人気、学部系統別の文低理高等の影響による、全国的な文学部志願者数の漸減傾向を受け、平成 25 年頃より国文学科の志願者減が顕著となった。募集回復に向け、学科のみならず学長主導の下で教育内容の見直し、カリキュラム改革を行ってきたが、80 名の入学定員を満たすにはいたっていない。

これらのことより、国文学科の入学定員を 20 名減じ、ライフプランニング学科の入学定員を 20 名増加することで、受験生の需要に沿った定員設定とすることとした。

ライフプランニング学科、国文学科の過去 5 年間における入学定員超過率は以下のとおりである。

学科	入学定員	区分	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	平均
ライフプランニング学科	40	志願者数	176	131	172	134	129	148.4
		受験者数	173	128	172	133	126	146.4
		合格者数	109	106	128	109	110	112.4
		入学者数	48	52	64	63	74	60.2
		入学定員超過率	1.20	1.30	1.60	1.57	1.85	1.50
国文学科	80	志願者数	103	119	114	120	120	115.2
		受験者数	99	118	114	119	117	113.4
		合格者数	90	106	108	114	105	104.6
		入学者数	59	62	60	60	43	56.8
		入学定員超過率	0.73	0.77	0.75	0.75	0.53	0.71

ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

国文学科は、減少する入学者数に歯止めをかけるべく、平成 28 年より教育課程の改革について検討を重ね、平成 30 年度より、「大阪・上方の言葉文化」というコンセプトのもと新たな科目群を設定した。本学が位置する「大阪」という地において、言葉を軸とした文化がどのように展開しているのかについて、ことば（方言）、文学、芸能、歴史といった観点から幅広くとらえ、教育、研究両面から学科の新機軸を打ち出していくものである。これは特に伝統的分野である国語・国文学分野の立て直しを図るものであるが、他コースの入学生も含め、国文学科全体としての学びとして位置づけている。

ライフプランニング学科は、平成 27 年度より「ライフデザインコース」と「フードスタディコース」の 2 コース制を導入したが、各コースの教育内容が確立していくとともに、当初のカリキュラムと教育内容とに乖離が生じ始めたため、コースごとの特長を明確化し、教育内容をより一層カリキュラムに反映させるべく、平成 31 年度よりコースに沿って科目の設置や名称変更、配置変更等を行った。新設科目として「特講」科目を設け、コース担当教員が講義と実習を組み合わせた実務的な授業を行うことも計画している。

今回の学則変更（収容定員変更）は、国文学科、ライフプランニング学科ともに教育課程の変更を伴うものではないため、教育内容や学生の授業科目履修は令和 2 年度

以降も計画通り実施する。

ただし今後も、これまでの教育研究指導における経験やノウハウを活かしながら、時代の変化と社会の要請に対応し、教育内容のさらなる充実を図る予定である。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

今回の学則変更（収容定員変更）において、教育課程に変更がないことから、教育方法及び履修指導方法についても変更はない。

国文学科、ライフプランニング学科ともに 2 年次よりコース分けを行うが、コース選択や履修指導については、学生の進路希望が叶うよう、学科教員が指導・助言を行うアドバイザー制度をより充実徹底し、入学当初から個々の学生の将来の進路希望に応じた丁寧な指導を行う。

(ウ) 教員組織の変更内容

まず、収容定員を減員する国文学科の教員数は 10 名（教授 6 名、准教授 2 名、講師 1 名、助教 1 名。平成 31 年 4 月時点）であり、大学設置基準第三条別表第一で定められた教員数 6 名を十分に満たしている。収容定員変更後も大学設置基準数は変わりなく、従来と同等もしくはそれ以上の質の高い教育水準を維持できると考える。

次に、収容定員を増員するライフプランニング学科の教員数は 12 名（教授 4 名、准教授 5 名、講師 3 名。平成 31 年 4 月時点）であり、大学設置基準第三条別表第一で定められた教員数 7 名を十分に満たしている。収容定員変更後は、大学設置基準数は変わりなく、より一層教員の質向上に努め、従来と同等以上の教育水準を維持する考えである。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

大学全体で共用する普通教室、演習室、体育館等については、大学全体の収容定員に変更はないため、特に変更の必要はなく、教育研究を行うのに十分である。

収容定員を増員するライフプランニング学科については、フードスタディコースで使用する調理実習室（フードスタディ・キッチン）への影響が考えられるが、クラス構成と時間割配置を工夫することで、それらの施設を変更することなく従来と同等以上の内容を担保することが可能であると考え。ただし状況に応じ、他学科へ影響のない範囲で増設することも視野に検討しており、今後も充実した修学環境を目指すこととしている。

別記様式第2号（その2の1）

教育課程等の概要															
(学芸学部国文学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
(学士課程基幹教育科目)															
樟蔭コア科目	学びのファーストステップ アカデミック・スキルズA	1前	1				○		1					兼6	
	アカデミック・スキルズB	1後	1				○		1					兼6	
	樟蔭スピリット Dear Women of Shoin	1前 1・2前	2	2		○			1					兼1	
	これからの女性 ジェンダーを考える	女性のライフサイクル	1・2・3・4前・後		2		○								兼1
		ジェンダーを考える	1・2・3・4前・後		2		○								兼1
	豊かな情操	笑いは人をつなぐ	2・3・4前		2		○								兼3 オムニバス
		表現するからだ、考えるからだ 芸術と鑑賞	2・3・4後 2・3・4後		2 2		○ ○								兼1 兼1
	小計(9科目)	—	4	12	0	—		2	0	0	0	0	0	兼15	
言語・情報科目	Communicative English 101	1・2・3・4前		1			○							兼7	
	Communicative English 102	1・2・3・4後		1			○							兼6	
	Communicative English 201	1・2・3・4前		1			○							兼2	
	Communicative English 202	1・2・3・4後		1			○							兼2	
	Communicative English 301	1・2・3・4前		1			○							兼1	
	Communicative English 302	1・2・3・4後		1			○							兼1	
	Basic English 001	1・2・3・4前		1			○							兼1	
	Basic English 002	1・2・3・4後		1			○							兼1	
	Basic English 101	1・2・3・4前		1			○							兼6	
	Basic English 102	1・2・3・4後		1			○							兼6	
	Basic English 201	1・2・3・4前		1			○							兼2	
	Basic English 202	1・2・3・4後		1			○							兼2	
	Basic English 301	1・2・3・4前		1			○							兼1	
	Basic English 302	1・2・3・4後		1			○							兼1	
	English Proficiency A	1・2・3・4前		1			○							兼1	
	English Proficiency B	1・2・3・4後		1			○							兼1	
	English Proficiency C	1・2・3・4前		1			○							兼1	
	English Proficiency D	2・3・4後		1			○							兼1	
	English Proficiency E	2・3・4前		1			○							兼1	
	コミュニケーション(外国語)	旅行の英語	1・2・3・4前・後		1			○							兼1
		留学の英語	2・3・4前・後		1			○							兼1
		ホスピタリティーの英語 A	1・2・3・4前・後		1			○							兼1
		ホスピタリティーの英語 B	2・3・4前・後		1			○							兼1
ニュースの英語		2・3・4前		1			○							兼1	
クリエイティブ・イングリッシュ		2・3・4後		1			○							兼1	
英語プレゼンテーション		2・3・4前		1			○							兼1	
Conversation and Fluency A		3・4前		1			○							兼1	
Conversation and Fluency B		3・4後		1			○							兼1	
アジアの言語・文化を知る		2・3・4後		1			○							兼1	
海外外国語演習A	1・2・3・4		2			○							集中		
海外外国語演習B	1・2・3・4		2			○							集中		
海外外国語演習C	1・2・3・4		1			○							集中		
異文化演習	1・2・3・4		1			○							集中		
中国語101	1・2・3・4前		1			○							兼2		
中国語102	1・2・3・4後		1			○							兼1		
中国語201	2・3・4前		1			○							兼2		
中国語202	2・3・4後		1			○							兼1		
朝鮮語101	1・2・3・4前		1			○							兼2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
主 題 別 科 目	朝鮮語102	1・2・3・4後		1			○									兼2	
	朝鮮語201	2・3・4前		1			○									兼2	
	朝鮮語202	2・3・4後		1			○									兼2	
	ドイツ語101	1・2・3・4前		1			○									兼2	
	ドイツ語102	1・2・3・4後		1			○									兼1	
	フランス語101	1・2・3・4前		1			○									兼2	
	フランス語102	1・2・3・4後		1			○									兼2	
	スペイン語101	1・2・3・4前		1			○									兼1	
	スペイン語102	1・2・3・4後		1			○									兼1	
	コミュニケーション(日本語リテラシー)	日本語表現 A	1・2・3・4前		1			○				1					兼1
		日本語表現 B	1・2・3・4後		1			○				1					兼1
		日本語表現 C	2・3・4前		1			○				1					兼1
		日本語表現 D	2・3・4後		1			○				1					兼1
		論理トレーニング	1・2・3・4前		1			○									兼1
		トータルプレゼンテーション	2・3・4後		1			○									兼1
	コミュニケーション(日本語のしくみ)	日本語学	2・3・4前		2		○										兼1
		言語とコミュニケーション	2・3・4前・後		2		○										兼1
	情報リテラシー	情報処理基礎A	1前	1					○								兼5
		情報処理基礎B	1後	1					○								兼5
		情報と社会	1後	2			○										兼1
		やさしい統計学	2・3・4前		2		○										兼1
		大学生のための数学	2・3・4後		2		○										兼1
	小計(60科目)	—	4	63	0	—	—	—	—	0	0	1	0	0		兼47	
	①生活者・消費者・市民として生きる	日常生活と法	1・2・3・4前・後		2		○										兼1
		日本国憲法	1・2・3・4前・後		2		○										兼2
		日常生活と科学	1・2・3・4前・後		2		○										兼1
		家計・消費と経済	1・2・3・4前・後		2		○										兼1
		日本の食と文化	1・2・3・4後		2		○										兼1
著作権概説		2・3・4前		2		○										兼1	
現代社会と生活者の視点		1・2・3・4前・後		2		○										兼5 オムニバス	
地域課題とボランティア活動		1・2・3・4前・後		2		○										兼1	
子育てを考える		1・2・3・4前		2		○										兼1	
マナーとホスピタリティ		1・2・3・4前・後		2		○										兼1	
多様性社会を生きるとは		2・3・4前		2		○										兼1	
リスク社会に生きる		2・3・4後		2		○										兼1	
グローバル化する社会		2・3・4後		2		○										兼1	
②心と健康を考える		生命の成り立ち	1・2・3・4前・後		2		○										兼1
		心のしくみ	1・2・3・4前・後		2		○										兼1
	ライフステージと栄養	1・2・3・4前・後		2		○										兼3	
	自己の探求	1・2・3・4前・後		2		○										兼2 オムニバス	
	心の健康	1・2・3・4前・後		2		○										兼1	
	運動と健康A	1・2・3・4前		1				○								兼1	
	運動と健康B	1・2・3・4後		1				○								兼1	
	健康の科学	1・2・3・4前・後		2		○										兼1	
	対人関係の心理学	1・2・3・4前		2		○										兼1	
レクリエーションと健康	2・3・4前・後		2				○								兼1		
③今を考える・未来を生きる	文学の読み方	1・2・3・4前・後		2		○				1	1						
	現代に生きる女性たち	1・2・3・4前・後		2		○										兼1	
	サブカルチャー論	1・2・3・4前・後		2		○										兼1	
	国際教養入門	1・2・3・4後		2		○										兼1	
	日本文化論	1・2・3・4後		2		○				1							
	現代モード論	1・2・3・4後		2		○										兼1	
	化粧品概論	1・2・3・4前		2		○										兼1	
美しく生きるとは	2・3・4前		2		○										兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	国際社会と平和	2・3・4休		2		○									兼1	集中
	歴史の読み方	1・2・3・4前・後		2		○			1						兼1	
	宗教と現代	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	美しい地球を創る	2・3・4前・後		2		○									兼1	
	地球と社会の歩き方	2・3・4前・後		2		○									兼1	
	小計 (36科目)	—	0	70	0				2	1	0	0	0		兼37	
統合的学習経験	総合ゼミナールA	4前		1			○								兼1	
	総合ゼミナールB	4後		1			○								兼1	
	小計 (2科目)	—	0	2	0				0	0	0	0	0		兼1	
キャリア系科目	キャリア設計	1後・2前		1			○								兼4	
	キャリア開発	2前		1			○								兼4	
	キャリア研究	3前		2		○									兼1	
	インターンシップA	2通		1				○							兼4	
	インターンシップB	3通		1											兼4	
	インターンシップC	4通		1											兼4	
小計 (6科目)	—	0	7	0				0	0	0	0	0		兼6		
学士課程基幹教育科目 合計 (113科目)			—	8	154	0			3	1	1	0	0		兼103	
(国文学科専攻科目)																
学科共通	基礎科目	読書へのいざない	1後	1			○		2	1	1					オムニバス
		国文学入門	1後	2			○		3	2						
		日本文学概論	1前	2			○			1						
		書物を学ぶ、書店で学ぶ	2・3・4通		2			○		1						
	科大目阪・上方関連	大阪・上方のことば文化	1前	2			○		1	1					兼1	オムニバス
		大阪ことば入門	1後	2			○		1							
		大阪文学入門	2前	2			○		1							
		上方文化入門	2後	2			○								兼1	
		大阪ことば研究	3・4前		2		○		1							
		上方文化研究	3・4後		2		○								兼1	
	演習科目	研究入門ゼミA	2前	1				○		3	2					
		研究入門ゼミB	2後	1				○		3	2					
		発展ゼミA	3前	1				○		3	2					
		発展ゼミB	3後	1				○		3	2					
		発展ゼミC	4前	1				○		3	2					
		発展ゼミD	4後	1				○		3	2					
		卒業論文・卒業制作	4通	6						3	2					
小計 (17科目)	—	25	6	0				4	3	1	0	0		兼2		
国語・国文学コース	基幹科目	日本語学概論	2前		2		○		1							
		日本語文法概論	2後		2		○		1							
		古典文学史	2前		2		○			1						
		近現代文学史	2後		2		○		1							
		文学作品講読(上代・中古)A	2・3・4前		1			○							兼1	
		文学作品講読(上代・中古)B	2・3・4後		1			○							兼1	
		文学作品講読(中世・近世)A	2・3・4前		1			○			1					
		文学作品講読(中世・近世)B	2・3・4後		1			○			1					
		文学作品講読(近代・現代)A	2・3・4前		1			○		1						
		文学作品講読(近代・現代)B	2・3・4後		1			○			1					
	日本語講読(現代語)	2・3・4前		1			○		1							
	日本語講読(古典語)	2・3・4後		1			○							兼1		
	発展科目	日本文学研究(上代・中古)A	3・4前		2		○			1						兼1
		日本文学研究(上代・中古)B	3・4後		2		○			1						
日本文学研究(中世・近世)A		3・4前		2		○				1						
日本文学研究(中世・近世)B		3・4後		2		○				1						
	日本文学研究(近代・現代)A	3・4前		2		○		1								
	日本文学研究(近代・現代)B	3・4後		2		○			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	小計 (18科目)	—	0	28	0	—			3	2	0	0	0	兼2	
書道コース	基幹科目	漢字書法A	2前	1			○		1						
		漢字書法B	2後	1			○		1						
		仮名書法A	2前	1			○							兼1	
		仮名書法B	2後	1			○							兼1	
		漢字仮名交じり書法A	2後	1			○							兼1	
	発展科目	漢字書法C	3前	1			○								兼1
		仮名書法C	3前	1			○								兼1
		漢字仮名交じり書法B	3後	1			○								兼1
		鑑賞法	3後	2		○									兼1
		篆刻法	3前	1			○								兼1
		書論	3後	2		○									兼1
		創作研究A	3前	2		○			1						
		創作研究B	3後	2		○			1						
		創作研究C	4前	2		○									兼1
	創作研究D	4後	2		○			1							
	小計 (15科目)	—	0	21	0	—			1	0	0	0	0	兼3	
創作表現コース	基幹科目	出版編集企画論	2後	2		○								兼1	
		著作権概説	2後	2		○				1					
		創作理論と実践A	2前	2		○				1					
		創作理論と実践B	2後	2		○								兼1	
	発展科目	創作演習 (小説・エッセイ)	2・3・4前	1			○			1					兼1
		創作演習 (ライトノベル)	2・3・4後	1			○							兼1	
		創作演習 (コピーライティング)	2・3・4前	1			○							兼1	
		創作演習 (詩歌)	2・3・4後	1			○							兼1	
		創作演習 (朗読)	2・3・4前	1			○							兼1	
		創作表現研究A	3前	2		○								兼1	
創作表現研究B	3後	2		○								兼1			
	小計 (11科目)	—	0	17	0	—			0	2	0	0	0	兼8	
教職関連科目	教職関連科目	学校文法入門	1後	2		○								兼1	
		書写A	1前	1			○		1						
		書写B	1後	1			○							兼1	
		漢文講読A	2前	1			○							兼1	
		漢文講読B	2後	1			○							兼1	
		日本書道史	2後	2		○								兼1	
		中国書道史	2前	2		○								兼1	
		中国文学	3前	2		○								兼1	
		中国文学史	3後	2		○								兼1	
	小計 (9科目)	—	0	14	0	—			1	0	0	0	0	兼5	
国文学科専攻科目 合計 (70科目)		—	25	86	0	—			4	3	1	0	0	兼16	
学位又は称号	学士(国文学)	学位又は学科の分野			文学関係										
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
学士課程基幹教育から、必修科目及び選択必修科目12単位を含む32単位以上、専攻科目から、必修科目及び選択必修科目を含む62単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))						1 学年の学期区分			2期						
						1 学期の授業期間			15週						
						1 時限の授業時間			90分						

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与される学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

別記様式第2号（その2の1）

教育課程等の概要																
(学芸学部ライフプランニング学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
(学士課程基幹教育科目)																
樟蔭コア科目	学びのファーストステップ	アカデミック・スキルズA アカデミック・スキルズB	1前 1後	1 1				○ ○			1 1			兼6 兼6		
	樟蔭スピリット	樟蔭の窓 Dear Women of Shoin	1前 1・2前		2 2			○ ○						兼1 兼1		
	これからの女性	女性のライフサイクル ジェンダーを考える	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後		2 2			○ ○						兼1 兼1		
	豊かな情操		笑いは人をつなぐ 表現するからだ、考えるからだ 芸術と鑑賞	2・3・4前 2・3・4後 2・3・4後		2 2 2			○ ○ ○					兼3 オムニバス 兼1 兼1		
			小計(9科目)	—	4	12	0	—			1	0	1	0	0	兼13
	言語・情報科目	コミュニケーション(外国語)	Communicative English 101	1・2・3・4前		1			○						兼7	
Communicative English 102			1・2・3・4後		1			○						兼6		
Communicative English 201			1・2・3・4前		1				○					兼2		
Communicative English 202			1・2・3・4後		1				○					兼2		
Communicative English 301			1・2・3・4前		1				○					兼1		
Communicative English 302			1・2・3・4後		1				○					兼1		
Basic English 001			1・2・3・4前		1				○					兼1		
Basic English 002			1・2・3・4後		1				○					兼1		
Basic English 101			1・2・3・4前		1				○					兼6		
Basic English 102			1・2・3・4後		1				○					兼6		
Basic English 201			1・2・3・4前		1				○					兼2		
Basic English 202			1・2・3・4後		1				○					兼2		
Basic English 301			1・2・3・4前		1				○					兼1		
Basic English 302			1・2・3・4後		1				○					兼1		
English Proficiency A			1・2・3・4前		1				○						兼1	
English Proficiency B			1・2・3・4後		1				○						兼1	
English Proficiency C			1・2・3・4前		1				○						兼1	
English Proficiency D			2・3・4後		1				○						兼1	
English Proficiency E			2・3・4前		1				○						兼1	
旅行の英語			1・2・3・4前・後		1				○						兼1	
留学の英語			2・3・4前・後		1				○						兼1	
ホスピタリティーの英語 A			1・2・3・4前・後		1				○						兼1	
ホスピタリティーの英語 B			2・3・4前・後		1				○						兼1	
ニュースの英語			2・3・4前		1				○						兼1	
クリエイティブ・イングリッシュ			2・3・4後		1				○						兼1	
英語プレゼンテーション			2・3・4前		1				○						兼1	
Conversation and Fluency A			3・4前		1				○						兼1	
Conversation and Fluency B	3・4後		1				○						兼1			
アジアの言語・文化を知る	2・3・4後		1				○						兼1			
海外外国語演習A	1・2・3・4		2				○						兼中			
海外外国語演習B	1・2・3・4		2				○						兼中			
海外外国語演習C	1・2・3・4		1				○						兼中			
異文化演習	1・2・3・4		1				○						兼中			
中国語101	1・2・3・4前		1				○						兼2			
中国語102	1・2・3・4後		1				○						兼1			
中国語201	2・3・4前		1				○						兼2			
中国語202	2・3・4後		1				○						兼1			
朝鮮語101	1・2・3・4前		1				○						兼2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	朝鮮語102	1・2・3・4後		1			○								兼2	
	朝鮮語201	2・3・4前		1			○								兼2	
	朝鮮語202	2・3・4後		1			○								兼2	
	ドイツ語101	1・2・3・4前		1			○								兼2	
	ドイツ語102	1・2・3・4後		1			○								兼1	
	フランス語101	1・2・3・4前		1			○								兼2	
	フランス語102	1・2・3・4後		1			○								兼2	
	スペイン語101	1・2・3・4前		1			○								兼1	
	スペイン語102	1・2・3・4後		1			○								兼1	
コミュニケーション(日本語リテラシー)	日本語表現 A	1・2・3・4前		1			○								兼2	
	日本語表現 B	1・2・3・4後		1			○								兼2	
	日本語表現 C	2・3・4前		1			○								兼2	
	日本語表現 D	2・3・4後		1			○								兼2	
	論理トレーニング	1・2・3・4前		1			○								兼1	
	トータルプレゼンテーション	2・3・4後		1			○								兼1	
コミュニケーション(日本語のしくみ)	日本語学	2・3・4前		2		○									兼1	
	言語とコミュニケーション	2・3・4前・後		2		○									兼1	
情報リテラシー	情報処理基礎A	1前	1					○							兼5	
	情報処理基礎B	1後	1					○							兼5	
	情報と社会	1後	2			○			1							
	やさしい統計学	2・3・4前		2		○									兼1	
	大学生のための数学	2・3・4後		2		○									兼1	
	小計(60科目)	—	4	63	0		—		1	0	0	0	0		兼4	
主題別科目	①生活者・消費者・市民として生きる	日常生活と法	1・2・3・4前・後		2		○			1						
		日本国憲法	1・2・3・4前・後		2		○									兼2
		日常生活と科学	1・2・3・4前・後		2		○									兼1
		家計・消費と経済	1・2・3・4前・後		2		○				1					
		日本の食と文化	1・2・3・4後		2		○			1						
		著作権概説	2・3・4前		2		○									兼1
		現代社会と生活者の視点	1・2・3・4前・後		2		○				1					兼4 オムニバス
		地域課題とボランティア活動	1・2・3・4前・後		2		○				1					
		子育てを考える	1・2・3・4前		2		○									兼1
		マナーとホスピタリティ	1・2・3・4前・後		2		○					1				
	②心と体の健康を考える	多様性社会を生きるとは	2・3・4前		2		○									兼1
		リスク社会に生きる	2・3・4後		2		○									兼1
		グローバル化する社会	2・3・4後		2		○									兼1
		生命の成り立ち	1・2・3・4前・後		2		○									兼1
		心のしくみ	1・2・3・4前・後		2		○									兼1
		ライフステージと栄養	1・2・3・4前・後		2		○									兼3
		自己の探求	1・2・3・4前・後		2		○									兼2 オムニバス
		心の健康	1・2・3・4前・後		2		○									兼1
		運動と健康A	1・2・3・4前		1				○							兼1
		運動と健康B	1・2・3・4後		1				○							兼1
③今を考える・未来を生きる	健康の科学	1・2・3・4前・後		2		○									兼1	
	対人関係の心理学	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	レクリエーションと健康	2・3・4前・後		2				○							兼1	
	文学の読み方	1・2・3・4前・後		2		○									兼2	
	現代に生きる女性たち	1・2・3・4前・後		2		○									兼1	
	サブカルチャー論	1・2・3・4前・後		2		○									兼1	
	国際教養入門	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	日本文化論	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	現代モード論	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	化粧品概論	1・2・3・4前		2		○									兼1	
美しく生きるとは	2・3・4前		2		○									兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	国際社会と平和	2・3・4休		2		○									兼1	集中
	歴史の読み方	1・2・3・4前・後		2		○									兼2	
	宗教と現代	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	美しい地球を創る	2・3・4前・後		2		○									兼1	
	地球と社会の歩き方	2・3・4前・後		2		○									兼1	
	小計 (36科目)	—	0	70	0				2	2	1	0	0		兼3	
統合的学習経験	総合ゼミナールA	4前		1			○			1						
	総合ゼミナールB	4後		1			○			1						
	小計 (2科目)	—	0	2	0				0	1	0	0	0		兼0	
キャリア系科目	キャリア設計	1後・2前		1			○				1				兼3	
	キャリア開発	2前		1			○				1				兼3	
	キャリア研究	3前		2		○					1				兼3	
	インターンシップA	2通		1				○			1				兼3	
	インターンシップB	3通		1				○			1				兼3	
	インターンシップC	4通		1				○			1				兼3	
小計 (6科目)	—	0	7	0				0	0	1	0	0		兼5		
学士課程基幹教育科目 合計 (113科目)		—	8	154	0				4	2	2				兼9	
(ライフプランニング学科専攻科目)																
学科基礎	現代社会論	1前	2			○									兼1	
	現代女性論	1後	2			○									兼1	
	生活設計論	1前	2			○				1						
	ファイナンシャル・プランニング概論	1前	4			○			1							
	食生活概論	1前	2			○									兼1	
	日本の食と文化	1前	2			○			1							
	経済学入門	2前	2			○				1						
	経営学入門	2後	2			○									兼1	
	エコロジー論	1前	2			○			1							
	ファイナンシャル・プランニング演習A	1前	1				○		1							集中
	フードスタディ基礎実習A	1休	1					○							兼1	集中
	フードスタディ基礎実習B	1後	1					○							兼1	
フィールドワーク実習	2後	1					○	1	1	1						
小計 (13科目)	—	18	6	0				2	2	1	0	0		兼5		
ライフデザイン	ファイナンシャル・プランニング特論	1後		2		○			1							
	ファイナンシャル・プランニング演習B	1後		1			○		1							
	ファイナンシャル・プランニング演習C	2前		1			○		1							
	金融システム論	3後		2		○				1						
	資産の運用と管理	3後		2		○				1						
	生活経済学	3後		2		○				1						
	リスクマネジメント論	2前		2		○				1						
	生活と税	2後		2		○			1							
	生活と法	3前		2		○									兼1	
	家族関係論	2前		2		○									兼1	
	家族問題論	3後		2		○			1							
	社会保障論	3前		2		○									兼1	
ライフデザイン総合研究	3後		2		○				1	1					※実習	
小計 (13科目)	—	0	24	0				2	1	1	0	0		兼3		
フーズスタディ	English for Food Studies	2前		1				○	1							
	食の伝統と文化	2後		2		○			1							
	グローバル化と食	3前		2		○			1							
	食の安全・安心	2後		2		○			1							
	フードスタイリング	3後		2		○									兼1	
	フードコーディネイト研究	2前		2		○									兼1	
	フードビジネス論	3後		2		○			1							
	フードメディア演習	3後		1			○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
イ	フードスタディ実習A	2通		2				○	1						
	フードスタディ実習B	3通		4				○	1						
	フードスタディ総合研究	3後		2		○			3						※実習
	小計 (11科目)	—	0	22	0			—	3	0	0	0	0	0	兼3
学科総合	簿記	2後		4		○			1						
	会計学	3後		2		○									兼1
	広告論	2後		2		○									兼1
	マーケティング論	2前		2		○			1						
	企業経営論	3後		2		○									兼1
	企業活動と法	3後		2		○									兼1
	現代ビジネス論	3前		2		○			1						
	企業活動とキャリア研究	3後		2		○					1				
	ビジネス・コミュニケーションA	2後		2		○					1				
	ビジネス・コミュニケーションB	3前		2		○					1				
	ビジネス・サービス論	3後		2		○					1				
	ライフスタイルと環境	2休		2		○									兼1
	消費者行動論	3前		2		○			1						
	家族と地域社会	2後		2		○					1				
	少子高齢化とコミュニティ	3後		2		○					1				
	地域福祉論	3前		2		○									兼1
	都市生活論	3前		2		○					1				
生涯学習概論Ⅰ	1・2・3・4前		2		○					1					
生涯学習概論Ⅱ	2・3・4後		2		○					1					
小計 (19科目)	—	0	40	0			—	3	2	2	0	0	0	兼6	
社会調査	社会調査概説	1後		2		○				1					
	基礎統計学	2前		2		○									兼1
	社会調査の方法	2前		2		○									兼1
	データ解析の基礎	2後		2		○									兼1
	量的データ解析実習	3前		1				○	1						
	質的データ解析実習	3前		1				○		1					
	社会調査実習Ⅰ	3通		2				○							兼1
	社会調査実習Ⅱ	3通		2				○							兼1
小計 (8科目)	—	0	14	0			—	1	1	0	0	0	0	兼2	
教職関係科目	住居学 (製図を含む。)	2前		2		○									兼1
	食物学 (栄養学、食品学を含む。)	3前		2		○									兼1
	被服学	3前		2		○									兼1
	家庭電気・機械 (情報処理を含む。)	3後		2		○									兼1
	保育学 (家庭看護を含む。)	3前		2		○									兼1
	〔被服構成学実習〕	3後		1				○							兼1
	小児保健学実習	3前		1				○							兼1
	〔調理学実習〕	3前		2				○							兼1
小計 (8科目)	—	0	14	0			—	0	0	0	0	0	0	兼6	
ゼミ	基礎演習A	1前	1					○	2	1	1				
	基礎演習B	1後	1					○	2		2				
	基礎演習C	2前	1					○		2	1				
	基礎演習D	2後	1					○	4	2					
	演習A	3前	1					○	4	2					
	演習B	3後	1					○	4	2					
	演習C	4前	1					○	4	2					
	演習D	4後	1					○	4	2					
	卒業論文	4通	6						4	2					
	小計 (9科目)	—	14	0	0			—	5	3	2	0	0	0	兼0
ライフプランニング学科専攻科目 合計 (81科目)	—	32	120	0			—	6	4	2	0	0	0	兼20	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号	学士(ライフプランニング)		学位又は学科の分野			経済学関係、家政関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
学士課程基幹教育から、必修科目及び選択必修科目12単位を含む32単位以上、専攻科目から、必修科目及び選択必修科目を含む62単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：48単位(年間))						1 学年の学期区分			2期					
						1 学期の授業期間			15週					
						1 時限の授業時間			90分					

(注)

- 1 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与される学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。